

日本産酒類の輸出促進連絡会議 説明資料

平成25年3月12日
観光庁

1-1. 酒蔵ツーリズム®の推進に関する政府の方針

「酒蔵ツーリズム」は佐賀県鹿島市の登録商標です。

○「観光立国推進基本計画」（2012年3月30日 閣議決定）

3-5 観光旅行促進のための環境の整備

(五) 新たな観光旅行の分野開拓

② 各ニューツーリズムの推進

キ ファッション・食・映画・アニメ・山林・花等を観光資源としたニューツーリズムの推進

食については、各地の気候風土に根差した郷土料理を始め、B級グルメや地酒・地ビール等の飲料も観光コンテンツとして注目を集めている。引き続き、各地の食の魅力を発信するイベントやブランド化等に対する取組みを支援する。

○「日本経済再生に向けた緊急経済対策」（2013年1月11日 閣議決定）

2. 地域の特色を生かした地域活性化

(1) 地域の魅力の発信、観光の振興

地域それぞれの魅力を日本全国、世界に発信する。地域の特色ある農林水産物の魅力の発信や輸出相手国の輸入手続きの円滑化のための働きかけなど幅広い輸出拡大の取組等を行う。また、官民協働で地域の魅力を開発・発信し、観光地の再建を図る取組等を推進する。さらに、地域の魅力の中核となる文化施設等の機能強化や国立公園の安全対策等を行うとともに訪日外国人旅行者の誘致を進めるなど観光の振興を図る。

■
■ (中略)
■

日本産酒類の総合的な輸出環境整備

[参考] 「國酒等の輸出促進プログラム」（2012年9月4日）（抜粋）

酒造関係業界、関連業界、地方自治体、国からなる酒蔵ツーリズム推進のための協議会を設けて、現状と課題、外国人の受け入れ体制を含む環境整備、振興方策等について検討することが望まれる。

1-2. 酒蔵ツーリズム推進に向けて

○酒蔵ツーリズム推進のための官民協議会の設置・モデルケースの構築

- ・まだ緒についたばかりで、現状分析と関係者の考え方の共有、連携のあり方を検討。
- ・酒造関係業界、関連業界、地方自治体、国からなる酒蔵ツーリズム推進のための官民協議会を設置。
→現状と課題、外国人の受け入れ体制を含む環境整備、振興方策等について検討（総務省「地域人材ネット」等の活用）。
- ・インバウンドの視点から見て潜在性が大きく、意欲のある地域をモデルとして、受入課題や有望な海外プロモーション先の検討。
→取組意欲のある地域に、ノウハウの拡大、浸透を図る。

○地域ぐるみでの環境整備等酒蔵ツーリズムの推進

- ・地域においても、酒造業者と自治体、観光協会が連携して、酒蔵ツーリズム推進のための協議会等の設置。
→地域に存する他の観光資源とストーリー性をもって連携を進め、自らの地域の魅力を広く発信していくことが重要。
- (例) 鹿島酒蔵ツーリズム推進協議会、埼玉地酒応援団

○海外からの酒蔵ツーリズム客の誘致促進

- ・酒蔵ツーリズムの存在と具体的内容を内外に様々な機会を捉えて発信。
- 酒蔵関係のルートを紹介するガイドブックの作成
 ホームページの多言語化発信
 旅行会社において、酒蔵をテーマにした旅行商品の開発
 VJ事業（招聘事業）に國酒等を広報する機会の盛り込み 等



小澤酒造株式会社
酒蔵見学

関谷醸造株式会社
酒造り体験コース



<趣旨>

酒蔵ツーリズム協議会（仮称）は、日本産酒類（日本酒、焼酎、泡盛及び日本産のワイン・ビール等）を盛り立てるとともに、それを観光資源として活用し、外国人観光客への訴求も見据え、我が国及び地域の観光交流の魅力の増進と地域活性化に繋げることを目的に、

- ① 先進的な取り組みの情報の収集、発信、本件に関わる様々な関係者の連携強化
- ② 地域における取り組みの促進

を図る。

1-4. (仮称) 酒蔵ツーリズム推進協議会 (案)

<主な取り組み>

① 酒造業界と観光業界その他関係者とのネットワーク化。

- ・ 酒造業界と観光等業界、行政の交流、SNS（ソーシャルネットワーク）の活用。
（イノベーションや経営革新を引き起こすような知と実践のプラットフォーム化を目指す。）

② 地域協議会等の組織化と相互の連携強化、地域モデル及びビジネスモデル事例の収集・分析・情報提供。

- ・ 地域ぐるみの協議会の立ち上げを促進し、通年型の酒蔵観光を目指す。
（蔵元のみならず、観光団体や商工団体が主体になり、行政が支援する体制づくりが重要。）
- ・ 下記のような事例を収集して、情報提供の仕組み作り。

例：地域協議会（佐賀県「鹿島酒蔵ツーリズム推進協議会」、
兵庫県「はりま酒文化ツーリズム協議会」）

ワインツーリズムやまなし

永年に渡る取り組み（兵庫県灘、京都府伏見等）

県単位での応援（埼玉地酒応援団等）

ブロック単位での各省庁と関係団体の連絡会設置（近畿地方等）



③ お酒や酒蔵をまちづくり、まちづかいに活用することによる地域の活性化。モデル的な事例を収集・提供。



例：富山市岩瀬

(株) 榊田酒造店を中心に、かつて北前船の交易で栄えた廻船問屋の町屋を再生し、建築家や彫刻家を招聘。

④ 食文化、伝統工芸との連携・協力関係の構築の促進

・ 地域の伝統工芸の食器による提供も含めて、酒蔵観光との連携強化を図る。

例：福井県 伝統工芸の食器の活用。

酒蔵がレストランや居酒屋を併設している事例もあるが、訪問客が地域の外食店でも醸造した酒を楽しめるなど地域内の店舗との連携を深めていくことも重要。

外国人観光客誘致に関しても世界的な日本食ブームを活かす方策も重要。)



越前漆器

⑤ 旅行商品の開発・仕組み作りの事例の収集・提供

・ 観光業界の協力を得ながら、具体的事例の拡大を図る。

(ガイド等の人材育成も重要。)

例1: 「パ酒ポート」 北海道広域道産酒協議会 (事務局・JTB北海道)

『パ酒ポート』というパスポートをもじった北海道産酒情報スタンプラリー帳を製作し、北海道の日本酒の蔵、ワインの醸造所、ビールの工場等を巡る仕掛けをし、消費者に北海道産のお酒について理解を深め、より一層愛していただきたい、という企画。



例2: 「聖地巡盃」 企画: 聖地巡盃推進委員会、旅行主催: (株)ティー・ゲート
全国各地に点在する「神社」と「日本酒 (蔵元)」を活用して着地型の観光商品を新たに企画・販売。「神社」と「日本酒 (蔵元)」の密接な物語を綴り、地域ならではの魅力を広く国内外に発信。



・ 外国人向けツアーの普及

例: 酒蔵に海外の日本酒ファンを呼び込むツアー Sake Brewery Tours をプロデュース (2010年～)

→ 2012年度は、道トラベルや日本旅行やとコラボによる商品化

2013. 3. 4 ~ 3. 8 (4泊5日) 関西3酒造巡りツアー

2013. 3. 10 ~ 3. 16 (6泊7日) 信越3酒造巡りツアー

※日本酒ジャーナリストジョン・ゴントナー氏による説明付き。

・ 在日外国人向けの日帰り・一泊ツアーの造成等について働きかけ。

⑥ 協賛企業等からの連携プロジェクト提案の募集

- ・ 企業等から酒蔵ツーリズムの振興につながるプロジェクトの提案を受け、広く周知。

< 協議会のメンバー >

- ・ 酒造関係業界
- ・ 関連業界：観光業界、交通業界、商工団体、マスコミ
- ・ 有識者
- ・ 自治体
- ・ 国：観光庁、国税庁、総務省、経済産業省、農林水産省
- ・ 協賛企業

< スケジュール >

- | | |
|------------|------------|
| 平成24年10月～ | 準備会合を適宜実施 |
| 平成25年3月26日 | 協議会設立予定 |
| 平成25年度 | 具体的取り組みを促進 |

2. 訪日プロモーションにおける日本産酒類関係事項

○日本酒や観光の情報をFacebookやウェブサイトで情報発信するとともに、下記の取組を実施。

IMF・世界銀行年次総会2012の機会を捉えた観光PRイベント

○三菱地所株式会社と連携し、総会参加者をはじめとする外国人旅行者向けに日本各地の観光の魅力を紹介したPRイベント「Japan All In」において日本酒の試飲を実施した他、全国より厳選した蔵元の日本酒を取り揃えた日本酒BARを2012年10月8日～14日の期間限定でオープン。



日本酒の試飲体験(宮城県)

市場毎の訪日プロモーションにおける日本産酒類関係事項

◆米国における取組

<イベント関連>

・2013年3月19日～21日のジャパンウィークにおいて、イベント会場に設置するポップアップバーに各方面から日本酒を提供予定。また、ジャパンウィークに先立ち、現在開催中の関連イベント、ジャパニーズ・レストラン・ウィークにおいて、駅弁・郷土料理のほか、地酒を特別価格で提供いただくレストランもあり。

<広告宣伝>

・2012年9月、Conde Nast Traveler誌10月号のアドバトリアルに日本酒の写真を使用。

<ツアー造成>

・2012年秋～2013年冬、Food & Wine誌の広告企画として、訪日ツアーを企画造成し、長野県杵一市村酒造の視察を実施。

◆他市場における招請事業

・2013年1月31日 旅行会社招請(豪州)兵庫県神戸市灘 酒造めぐり

・2013年2月28日 メディア招請(中国上海)宮城県大崎市 造り酒屋「一ノ蔵」日本酒造りの工程見学、利き酒

・2013年3月7日 メディア招請(中国 北京)山形県天童市 出羽桜酒造(株)にて酒蔵見学と利き酒

・2013年3月8日 旅行会社・メディア招請(台湾)福島県喜多方市 喜多方蔵の里見学

<その他>

・グローバルキャンペーン「Share your WOW! -Japan Photo Contest-」の優秀者に対する受賞特典として、2013年3月16日に受賞者が會津酒造歴史館を訪問予定。酒蔵の見学や利き酒等を実施予定。